

6月議会
報告その2

6月議会終わる。各派の態度は

“イビデン専用道路”に2億5千万円余の支出。賛成多数で可決

6月19日、大垣市第2回定例会の最終日、提案された議案18議案、意見書4議案、人事案件2件の採択で終了しました。主な議案に対する会派別態度は以下の通りです。

議案名及び内容	共	自	民	公	ネ	大	自大	備考
18年度大垣市一般会計補正予算(1号)	●	○	○	○	○	○	○	“イビデン専用道路”に2億5770万円の道路新設改良事業
大垣市乳幼児等医療費助成条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	入院時の食費助成を廃止する条例改正
大垣市企業立地促進条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	イビデン、ヤフーを対象に2億円を上限とし固定資産税分を奨励金として支給
道路特定財源制度に関する意見書	●	○	○	○	○	○	○	道路特定財源の一般財源化に逆行し道路特定財源の堅持を求める意見書
出資法の上限金利の引き下げ等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	サラ金の金利29.2%を利息制限法が定める金利(15~20%)に引き下げよう求める意見書
大垣市助役の選任について	○	○	○	○	○	○	○	企画部長伊藤義彦氏を大垣市助役に選任

○=賛成、●=反対、
 共：日本共産党 自：自民クラブ 民：民主クラブ 公：市議会公明党 ネ：市民ネット
 大：大垣市をよくする会 自大：自由民主党大垣市議会

「入院時食費助成の廃止」と 「特定大企業に2億円の奨励金」 に反対討論 笹田トヨ子議員

笹田議員は最終日の本会議で、「大垣市乳幼児等医療費の助成に関する条例」など福祉医療助成制度の中で「入院に伴う食事療養費に要する費用の助成」を削除する条例の一部改正案に対し反対討論を行いました。

入院時食費助成の廃止

乳幼児医療費は昨年より小学2年生まで無料化するという拡充が行われました。しかし今回の「一部改正」で入院した場合1ヶ月で約24000円の負担となります。介護保険や医療制度の改悪そして障害者自立支援法の強行など国の悪政が押し寄せる中、今こそ地方自治体はその防波堤となることが求められています。今回の社会的弱者に対する入院時の食費負担は地方自治の役割に逆行すると指摘しました。

企業立地促進条例の「一部改正」

工場等設置奨励金を現在の3年間から10年間まで延長して、「10万平方メートルの土地取得の工場」と「ソフトピアジャパン周辺地区に固定資産額50億円の工場設置企業」に限定し、上限2億円まで奨励金を出すというもの。これはイビデンとヤフーしか該当せず、大企業の優遇策といえます。企業進出で雇用促進を挙げていますが、イビデンで働く労働者の多く派遣社員。大企業優遇策よりは、大垣の産業の下支えをしている外国人労働者に光を当てる必要があると指摘しました。

